

## 教員研究業績一覧（2016年4月1日～2017年3月31日）及び前年度補遺

神鷹 徳治（日本文学）

### 【論文】

1. 「原刊本と校定本」（『図書の譜』第20号, pp. 161-166, 明治大学図書館紀要, 2016年3月11日）

### 【学外講演】

1. 「漢文は日本文学である—『論語』と白居易の詩篇を巡って—」（漢文教育研究会平成28年度研究大会, 広島大学付属中・高等学校・研修館, 2016年12月2日）

### 【学会発表】

1. 「孫猛著『日本國見在書目』詳考について」（中国中世文学学会平成28年度秋季大会, 愛媛大学城北キャンパス, 2016年10月29日）

山崎 健司（日本古代文学）

### 【論文】

1. 「梅花歌三十二首再読」（『萬葉集研究』第36号 pp. 53-82, 塙書房, 2016年12月）
2. 「うら悲しき景—大伴家持の春愁歌の表現をめぐって—」（『國語と國文学』第94巻第4号（通巻1121号, pp. 1-15, 明治書院, 2017年3月12日）
3. 「仙覚本における「読み」の展開—文永三年本と文永十年本の異同をめぐって—」（『萬葉』第221号, pp. 24-43, 萬葉学会, 2016年3月）（補遺）

### 【学内外における社会的活動等】

1. 明治大学教育職員免許更新講習会 講師（国語科古典担当）
2. 萬葉学会 編輯委員
3. 萬葉学会 奨励賞選考委員
4. 上代文学会 常任理事（編集担当）
5. 筑波大学日本語日本文学会 評議員
6. 筑波大学学位論文審査委員会委員

牧野 淳司（日本文学）

### 【著書】

1. （共著）延慶本注釈の会編『延慶本平家物語全注釈第五末（巻十）』汲古書院、2016年11月
2. （共著）中世禅籍叢刊編集委員会編『中世禅籍叢刊 第七巻 禅教交渉論』臨川書店、2016年10月

### 【学会発表・研究発表】

1. 「唱導における翻訳の想像力」（The 2nd East Asian Translation Studies Conference, 明治大学, 2016年7月10日）
2. 「平安時代後期の日本仏教と高麗」（第7回明治大学・高麗大学校国際学術会議, 韓国・高麗大学校, 2016年9月7日）
3. 「源氏物語表白の文化史的研究」（国際学術研究会く交響する古代VII—古代文化資源国際化とその意義 Vol. 2—, 明治大学, 2017年1月14日）

### 【学外講演会】

1. 「平清盛」（多摩美術大学連続講座「世紀を歩く—美術と文化V 12世紀」, 中町ふれあいホール, 2015年5月16日）（補遺）
2. 「天下乱逆をめぐる唱導—澄憲・弁暁・平家物語—」（金沢文庫連続講座「仏教説話の世界」, 神奈川県立金沢文庫, 2015年10月10日）（補遺）

### 【学内外における社会的活動等】

1. 「なぜ熊野を目指すのか？」（【明治大学・東紀州地域振興公社連携講座】文学と旅日記から見た熊野, 明治大学, 2016年11月14日）

湯浅 幸代（日本文学）

### 【論文】

1. 『源氏物語』の立后と皇位継承—史上の立后・立坊例から宇治十帖の世界へ—（『中古文学』第98号, 中古文学会, pp. 75-89, 2016年12月）
2. 『うつほ物語』国譲巻に見る氏族の論理—「かぐや姫」の見定める「心ざし」と『九条右丞相遺誠』の「一心同志」から—（『日本文学』第66巻第2号, 日本文学協会, pp. 1-12, 2017年2月）
3. 『源氏物語』住吉の浜」（鈴木健一編『浜辺の文学史』三弥井書店, pp. 71-87, 2017年2月）

4. 「普遍性と親和性—古典文学を学ぶこと—」(『文芸研究』132号, 明治大学文学部, pp. 97-102, 2017年3月)

【学会発表・研究発表】

1. 『『竹取物語』の英訳比較 一かぐや姫の描き方を中心に—』(The 2nd East Asian Translation Studies conference, 明治大学, 2016年7月10日)

【学内外における社会的活動等】

1. 日本文学協会委員
2. 物語研究会委員(監事)

---

中村 友一(日本古代史)

【著書】

1. (共著) 加藤謙吉・佐藤信・倉本一宏編『日本古代の地域と交流』臨川書店, (中村 第5章「対外交渉と倭国内の帰化渡来系氏族」pp123-146, 2016年5月)
2. (共著) 杉戸町遺跡調査会田中祐樹編『杉内遺跡第2次調査』杉戸町遺跡調査会, (中村 第V章第4節「杉内遺跡の歴史的意義」pp83-85, 2017年3月)

【学会発表・研究発表】

1. 「伴造—伴部制の一齣—垂仁紀を中心に—」(単独)(あたらしい古代史の会, 成城大学, 2016年5月)
2. 「忌部首首と天武・持統代の出雲」(単独)(出雲古代史研究会, 松江市埋蔵文化財センター, 2016年7月)

【学内外における社会的活動等】

1. 埼玉県杉戸町文化財保護審議委員
2. 立川市史編纂委員(古代中世部会)
3. 成城大学民俗学研究所研究事業「日本古代の氏と系譜」研究協力者

---

石川 日出志(考古学)

【著書】

1. ISHIKAWA Hideshi, Josef KREINER, SASAKI Ken' ichi, YOSHIMURA Takehiko (eds.) 2016 Proceedings of the International Symposium on ORIGINS OF OKA MASAO' S ANTHROPOLOGICAL SCHOLARSHIP. Meiji University, November 27, 2015. Bonn, Bier'sche Verlagsanstalt. (235 pages)
2. 見附市教育委員会(編) 2016『国史跡指定記念事業 耳取遺跡シンポジウム—今よみがえる いにしへの縄文ムラ—そして未来へ—』全86頁(石川 pp. 33-45・67-86), 2016年3月。(補遺)

【論文】

1. 「新説! 私はこう考える① 金印真贋論争は「本物」で決着した!」(『歴史リアル 新説・新発見の日本史』, 洋泉社, pp. 12-17, 2016年4月4日)
2. 「弥生時代と文京」(『文京むかしむかし—考古学的な思い出』文京ふるさと歴史館, pp. 33-37, 2016年10月)
3. 「弥生時代とはどのような時代か」(『土器からみた大田区の弥生時代—久ヶ原遺跡、90年—』大田区郷土博物館, 2017年1月)
4. 「邪馬台国を再考する」(「むなかた電子博物館」紀要編集委員会(編)『むなかた電子博物館紀要』第7号, pp. 16-23, 2016年3月31日) (補遺)

【学会発表・研究発表】

1. 「特別委員会の5年間の活動—復興調査支援の取組と調査成果の還元及び残された課題—」(日本考古学協会第82回総会, 東京学芸大学, 2016年5月29日)
2. 「弥生時代再葬墓研究の諸問題」(第41回考古学研究会東京例会, 明治大学, 2016年6月11日)
3. 「Post-WWII Japanese Archaeology and the Founding of the Japanese Archaeological Association in 1948」(世界考古学会議代8回京都大会 WACS 公開講演会, 同志社大学, 2016年8月28日)
4. 「近代日本考古学導入をめぐる相剋—文明史観派と有職故実派—」(第7回明治大学・高麗大学校国際学術会議, 韓国・高麗大学校, 2016年9月7日)
5. 「日本列島の環濠集落—弥生時代の防御性集落—」(明治大学・中国社会科学院研究交流, 中国社会科学院世界史研究所, 2016年10月28日)
6. 「金印「漢委奴國王」の字形」(明治大学日本古代学研究所公開シンポジウム<ふたたび「漢委奴國王」金印を語る>, 明治大学, 2016年12月3日)
7. 「二つの金印—『漢委奴國王』と『親魏倭王』」(国際学術研究会<交響する古代VII—古代文化資源の国際化とその意義 Vol. 2—>, 明治大学, 2017年1月14日)
8. 「北上山地の洞穴遺跡—縄文・弥生時代の三陸海岸と北上山地—」(科研費<気仙地域の歴史・考古・民俗学的総合研究>報告会, 岩手県住田町農林会館, 2017年2月11日)

【学外講演】

1. 「金印・銅鐸, 卑弥呼の時代の東海」(浜松市博物館テーマ展<弥生時代の土器と交流>特別講座, 浜松市博物

館, 2016年6月12日)

2. 「弥生時代はどんな時代か？」(市川市考古博物館企画展<大むかしのいちかわー米づくりが始ったころー>記念講演, 2016年7月30日)
3. 「弥生時代の南関東」(相模原市旧石器ハテナ館事業講演会, 相模原市旧石器ハテナ館, 2016年8月20日)
4. 「大洗一帯の弥生文化の魅力語る」(大洗町考古学講演会, 大洗町中央公民館, 2016年9月25日)
5. 「“親魏倭王” 卑弥呼」(桜井市纏向学研究センター東京フォーラムV<「鬼道を事とし、能く衆を惑わす」—卑弥呼の鬼道—>, 日本教育会館, 2016年10月9日)
6. 「弥生時代青銅器と熊本」(明治大学国際日本古代学研究クラスター熊本講演会<火の国・熊本の古代を語る>, くまもと県民交流館パレア, 2016年11月3日)
7. 「山元遺跡と倭国大乱の時代」(<シンポジウム: 山元遺跡は何を語るのか>, 新潟県村上市教育委員会, 村上市神納東小学校, 2016年11月20日)
8. 「根塚遺跡が語る弥生文化の躍動」(木島平村歴史講演会, 長野県木島平村ふるさと資料館, 2016年11月27日)
9. 「弥生時代の茨城」(茨城県教育財団主催<見てふれて楽しい考古学>関連事業埋蔵文化財講演会, 茨城県立歴史館講堂, 2016年12月17日)
10. 「弥生時代とはどのような時代か」(平成28年度特別展<土器からみた大田区の弥生時代—久ヶ原遺跡、90年—>記念講演会, 大田区郷土博物館, 2017年1月22日)
11. 「東日本弥生文化の変革」(<佐倉市岩名天神前遺跡公開シンポジウム>, 同実行委員会, 佐倉音楽文化ホール, 2017年2月19日)
12. 「東日本の農耕社会の成立」(シンポジウム<三遠南信周辺における中期弥生土器と交流—稲作導入期の社会—>, 地域と考古学の会・浜松市博物館, 2017年2月25日)

【学内外における社会的活動等】

1. 一般社団法人日本考古学協会理事 (副会長)
2. 考古学研究会常任委員
3. 文部科学省文化審議会専門委員文化財分科会第三専門調査会委員
4. 文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会委員
5. 独立行政法人国立文化財機構外部評価委員会委員 委員
6. 東京都板橋区文化財保護審議会委員 (副会長)
7. 東京都北区文化財保護審議会委員 (副会長)
8. 茨城県文化財保護審議会委員
9. 佐賀県吉野ヶ里遺跡弥生時代調査指導委員会委員
10. 福島県白河市天王山遺跡調査指導委員会委員 (委員長)
11. 茨城県常陸大宮市泉坂下遺跡保存委員会委員
12. 茨城県大洗町史跡調査検討委員会委員
13. 市川市史編纂委員会 (歴史部会) 委員
14. 千葉市史跡加曽利貝塚報告書編集委員会委員
15. 北区中里貝塚調査指導委員会委員
16. 調布市史跡下布田遺跡調査評価委員会委員
17. 新潟市史跡古津八幡山遺跡保存活用計画策定委員会委員
18. 新潟県見附市耳取遺跡調査指導委員会委員
19. 長野県木島平村平塚遺跡発掘調査指導委員会委員

佐々木 憲一 (考古学)

【著書】

1. (監訳) 『複雑狩猟採集民とはなにか—アメリカ北西海岸の先史考古学』(設楽博已訳), 雄山閣, 2016年9月)

【論文】

1. (共著) 佐々木憲一(筆頭)・田中裕・岩田薫・阿部芳郎・小野寺洋介・尾崎裕妃・木村翔・土井翔平「茨城県小美玉市塚山古墳 2010年度発掘調査報告」(『古代学研究所紀要』第24号, 佐々木執筆 pp. 43-77, 明治大学古代学研究所, 2016年3月)〈補遺〉
2. 佐々木憲一(筆頭)・小野寺洋介・佐藤リディア・九重明大・尾崎裕妃「小美玉市地蔵塚古墳測量調査報告」(『小美玉市史料館報』Vol. 10, pp. 115-127, 小美玉市教育委員会, 2016年3月)〈補遺〉

【学会発表・研究発表】

1. 「Adoption of a Practice of Horse-Riding in Fifth Century Japan」(第7回 Society for East Asian Archaeology 世界大会, アメリカ合衆国ハーヴァード大学・ボストン大学, 2016年6月11日)
2. 「Regional Difference in Elite Symbolism during Kofun Period Japan」(第8回世界考古学会議 WAC, 同志社大学, 2016年8月29日)

3. 「Archaeological Investigations into the Omuro Cairn and Earthen Mound Group, Central Highlands of Japan (5th to 7th Centuries A.D.)」(単独講演, アメリカ合衆国ペンシルベニア大学, 2016年10月3日)
4. 「古墳時代の対外交渉」中国社会科学院世界史研究所, (於世界史研究所, 2016年10月28日)
5. 「資料学的アプローチによる北米の在外考古資料の資源化: 近代化課程の分析と超克」(及川穰と共著)(国際学術研究会<交響する古代VII-古代文化資源の国際化とその意義 vol.2 ->, 明治大学, 2017年1月14日)
6. 「Archaeological Investigations into the Dainichizuka Mounded Tomb (late sixth century), Ibaraki Prefecture, Eastern Japan」(単独講演, アメリカ合衆国南カリフォルニア大学, 2017年2月16日)
7. 「Recent Discoveries and Controversies-Japan」(Asian Archaeology: Recent Discoveries and Controversies. Harvard-Yenching Institute Roundtable Discussion, 2016年3月28日)〈補遺〉

【学外講演会】

1. 「古墳時代の熊本一周縁から見た古墳文化」(明治大学国際日本古代学研究クラスター熊本講演会<火の国・熊本の古代を語る>, くまもと県民交流館パレア, 2016年11月3日)
2. 「雪野山古墳とヤマト王権」(東近江市歴史に親しむ講座「雪野山古墳の時代」, 滋賀県東近江市, 2016年11月6日)

【学内外における社会的活動等】

1. 奈良市財団法人寧楽美術館評議員 (2004年~)
2. 長野市史跡大室古墳群整備専門家会議メンバー (2007年~)
3. 茨城県ひたちなか市文化財保護審議委員 (2007年~)

---

加藤 友康 (日本古代史)

【学会発表・研究発表】

1. 「古事談の情報源—古記録が筆録した情報と「言談」への変容の検討を通して考える—」(国際日本文化研究センター共同研究「説話文学と歴史史料の間に」2016年度第3回研究会報告, 国際日本文化研究センター, 2016年9月11日)
2. 「日本古代における文書整理の営為」(国際学術研究会<交響する古代VII-古代文化資源の国際化とその意義 Vol.2->, 明治大学, 2017年1月14日)

【学外講演】

1. 「平安時代の肥後国—摂関時代を中心とした地域社会と中央とのネットワークを受領の活動からみる—」(明治大学国際日本古代学研究クラスター熊本講演会<火の国・熊本の古代を語る>, くまもと県民交流館パレア, 2016年11月3日)
2. 「下総国府をとりまく人々の活動」(市川市史講演会—古代下総のまつりごと—, 市川市主催・明治大学国際日本古代学研究クラスター共催, メディアパーク市川, 2016年11月19日)

【学内外における社会的活動等】

1. 文部科学省文化審議会専門委員 (文化財分科会)
2. 国立歴史民俗博物館運営委員会共同研究委員会委員

---

井上 和人 (考古学)

【論文】

1. 「唐長安城(隋大興城)形制規格復元試論」(『条里制・古代都市研究』第32号, 条里制・古代都市研究会, 2017年3月)
2. 「日本列島古代山城の軍略と王宮・都城」(『日本古代学』9, pp1-33, 明治大学日本古代学教育・研究センター, 2017年3月)

【学会発表・研究発表】

1. 「日本列島の王宮・都城と中華帝国・朝鮮半島三国との関係性」(明治大学・中国社会科学院研究交流, 北京中国社会科学院世界史研究所, 2016年10月28日)

【学外講演】

1. 「古代山城・鞠智城と都城」火の国・熊本の古代を語る」(明治大学日本古代学研究クラスター・日本古代学熊本講演会, 熊本市くまもと県民交流館パレアホール, 2016年11月3日)
2. 「古代山城の真実—鞠智城は、なんのためにつくられたのか—」(平成28年度鞠智城・東京シンポジウム, 熊本県・熊本県教育委員会, 明治大学アカデミーホール, 2017年1月28日)

【学内外における社会的活動等】

1. 文化庁「史跡等における歴史的建造物の復元の取り扱いに関する委員会」委員
  2. 財団法人東洋文庫研究員(客員)
-